

授業案①

～回転するアニメーションで無限 LOOP～

北区立田端小学校 図工専科
後藤 亮子

◆対象学年 小学校 4年～6年

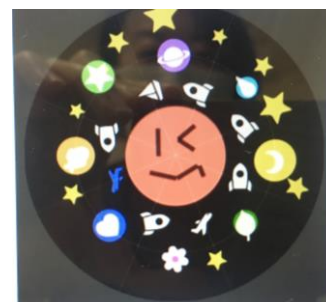
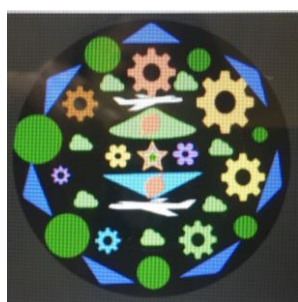
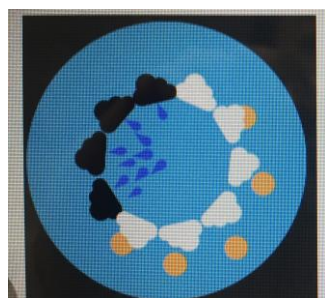
◆授業時数 90分(2コマ×1回)※1コマ45分

活用展開例 (1回目)

| 時間 | 主な活動(・)と発問(○)用具(●) | 指導上の留意点(・)評価規準(◎) |
|-----|--|---|
| 10分 | <p>【学習のめあて】 「回転アニメーションの仕組みを使って、楽しい動画作成を行い、動きの変化や造形的な見方・考え方を働かせ、材料の視覚的な面白さを工夫して表現する」</p> <hr/> <p>○マジカループというアプリを知ろう。 ●プロジェクター</p> <p>・フェナキスティスコープ（驚き盤）と呼ばれる初期のアニメーションづくりの原理を利用したアプリが「マジカループ」だと伝えます。(教員)</p> <p>・自分で設定したコマ数で構成される簡単なアニメーションを考え、動きを工夫しながら、上下、左右、大小、飛び出す、など変化させながら操作する方法を紹介します。(教員)</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>・動きのヒントとしての試案</p> <p>① 大きい→小さい→大きい</p> <p>② 上→下→上</p> <p>③ 縮む→伸びる→縮む</p> <p>④ くっつく→はなれる→くっつく</p> </div> <p>・保存方法を説明します。</p> | <p>・オブジェクトの動かし方を、作品例を見せながら説明する。実際にアプリを使いながら、特性をつかみ、回転させてみて、どのように見せたらアニメーションとして、より魅力的且つ、効果的にみえるか、ねらいを伝えます。</p> <p>◎動画アニメーションを考える活動から表し方を工夫している。(知識・技能)</p> <p>◎設定したコマ数内で構成される簡単なストーリーを考えて、動きを工夫しながら（上下、左右、大小、飛び出す、など）をつくる。(思考・判断・表現)</p> |

| | | |
|-----|---|--|
| 65分 | <p>○アニメーションをつくってみよう。</p> <p>●タブレット</p> <p>・まず1種類のオブジェクトで出来るだけ基本の形をベースにシンプルな動きのアニメーションを制作します。(設定方法を知り、コマ数や背景色を設定する)</p> <p>・アニメーションをつくります。自分の作品の表したい意図に応じて、オブジェクトを選んだり、色、形、動作などをイメージしたりながら制作します。(8コマでの作成が基本となることを伝えます)</p> | <p>・途中でも動かしてみて、見直し、別の表現方法を模索し、つくりかえるよう指導します。</p> <p>・学習クラウドに作成工程を記録するよう伝えます。</p> <p>◎オブジェクトの位置や大小、色や形を組み合わせ、何度も試しながらつくりかえることができる。(思考・判断・表現)</p> <p>◎アプリのオブジェクトを自らの感覚や行為で操作し、活動するなかで、フェナキスティスコープの楽しさやよさを感じている。(主体的に学習に取り組む態度)</p> |
| 15分 | <p>○作品を鑑賞し、作品の面白さや工夫した点について共有してみよう。</p> <p>・モニターに作品を映し、全体でよさや特徴について発表します。作品の動きや工夫した点について意見を交換します。</p> <p>・変更する部分がある場合は、置く順序を変更したり、加筆したりします。</p> <p>・保存方法を知り、作品を学習クラウドに残します。</p> | <p>・振り返りをし、作品のよさを伝え合うように促します。</p> <p>◎友達の作品のよさに気付いて発言している。(主体的に学習に取り組む態度)</p> |

【参考作品】



◆授業のねらい

本題材は、フェナキスティスコープ（驚き盤）と呼ばれる初期のアニメーションづくりの原理を利用した、「マジカループ」のアプリを使って、自分で設定したコマ数で構成される簡単なアニメーションを考え、動きを工夫しながら、上下、左右、大小、飛び出す、など変化させながら操作する。自分や友達の作品を鑑賞し、互いのよさや工夫について感じ取る題材である。